



令和5年6月28日
進路指導係

第1回定期試験が終了しましたが、これまでの学習の成果が十分に発揮できましたか。特に卒業予定生にとっては今年度の仮評定が出る大切な試験でしたので、今まで以上に取り組みにも力が入ったことと思います。

さて、1年生は入学から3ヶ月がたち、高校での生活習慣が定着してきたでしょうか。また2～4年生は今年度の目標を立て、それに向かって毎日を過ごしているでしょうか。

卒業予定生の就職希望者は、夏休みの企業訪問先を決めていくために、7月1日より公開となる求人票をしっかりと確認して、保護者、担任の先生、進路係と早めの相談をしていきましょう。そして三者懇談などで最終確認をし、その後の就職活動にしっかりと臨んでいきましょう。また進学希望者もオープンキャンパスへの参加など夏休みを有意義に使う、進路実現への準備を進めていきましょう。卒業予定生以外の皆さんも今から夏休みの過ごし方を考えたり、卒業後の進路について、夏休み中や三者懇談などで保護者や担任の先生とじっくりと話をしてください。

《進路関係行事予定》

6月 28日(水)	卒業予定生指導(LHR、就職・進学別)
7月 1日(土)～	求人票公開
12日(水)	(卒・就)産業事情説明会(企業の説明を聞く)
13日(木)～18日(火)	三者懇談
20日(木)	(卒・就)就職ガイダンス(就職活動理解、志望動機、模擬面接等)
21日(金)～	(卒・就)企業訪問(興味ある企業を訪問し、出願希望先を決める)
24日(月)～27日(木)	進路課外講座(国・数・英)
8月14日(月)	(卒・就)就職出願者指導(年次)
22日(火)	(卒・就)ハローワーク等による面接指導
26日(土)	第2回進学模試(卒業予定生)
9月16日(土)～	就職選考開始



◆卒業生の就職先訪問を終えて

6月に入り、卒業生の就職先訪問を行いました。16社の企業を訪問し、卒業生の勤務の状況を上司の方に聞いたり、実際に働いている様子を見学したり、直接卒業生とお話できた訪問先もありました。多くの卒業生は、最初は新しい環境にとまどっていたけれども、徐々に環境に慣れ、仕事に対して非常に積極的に頑張っているという報告を受けました。サービス業に就職した先輩方は、「誠意を持って明るい元気な接客を行っている」・「遅刻、欠勤なく真面目に仕事に取り組んでいる」・「外国のお客様にも進んでコミュニケーションをとろうとしている」などの評価をいただきました。また福祉関連業に就職した先輩には「日々優しくお年寄りの介護をさせていただいてほしいに頼りにしている」との評価もいただきました。

また企業の方からは、今後採用したい生徒としては「技術は入社してからで良いので、元気で挨拶ができ、休まず働いてくれる者。自分の意思を出せる人」・「自分の気持ちを伝えられること。明るくハキハキと接することができる人」・「誠実さ。休まない。同僚とのコミュニケーションがとれる人」が望ましいというお話をいただきました。さらに、可能ならば入社までに自動車免許を取得しておいてもらいたいという話もありました。

そして卒業生の先輩方から後輩へのアドバイスとして、「健康第一」・「アルバイトの時には言われた事をやっていたらよかったが、社員としては指示をしていかなくてはならなくなる。そこにプレッシャーを感じる。」・「自分で譲れない条件(仕事内容、通勤距離、給料など何でもよい)を決めて企業を選ぶとよい。何も考えずに就職活動をするのはよくない。学生時代に勉強、コミュニケーション力、思い出となること、生活リズムなどしっかり取り組んでおくことが大切だと思った。」など高校生活の中で養っておいただけが良かったことがたくさんあげられていました。

このように、卒業生の皆さんは立派に頑張っています。訪問した企業の方々からも、卒業生たちの仕事への取り組みや成果に対して高い評価をいただきました。卒業予定生の就職希望者は、今年度全員が成人となります。一人の大人としてふさわしい態度や心構えで来月からの就職活動に取り組んで下さい。そして、皆さんも素晴らしい先輩に続くよう、卒業して立派な社会人になれるよう頑張ってください。

◆学校選びのポイント

現在は、大学を出れば就職は安心という時代から、大学で何を身につけたかが問われる時代になってきました。また専門学校もどこでも良いというわけではなく、明確な将来の目標と強い意志を持って学び、しっかりと知識・技術を身につけないと何の役にも立ちません。学校を選ぶポイントで最も大切なことは次のとおりです。

- ①何を学びたいのか、そしてどんな仕事に就きたいのか
- ②どんな先生がいるのか、どんな授業があるのか
- ③どんな資格が取れるのか、就職状況はどうか
- ④自分の実力と合格できる学力の差はどれくらいか
- ⑤費用はどれくらいかかるのか

④は自分の努力次第でクリアすることが可能ですが、⑤は自分だけではどうにもできない大きな問題です。ちなみに進学者の初年度にかかる費用は私立大学（文系）で120万円、私立大学（理系）で160万円ほどです。また専門学校も大学と同じくらい必要です。さらに生活費については一人暮らしの場合アパート代、食費などで毎月11万円ほど、自宅通学でも毎月5万円ほどかかるようです。費用については**早い時期**から保護者とよく話し合っておきましょう。

◆オープンキャンパス・学校説明会に参加しよう

進学を考えている皆さん、希望の学校や気になる学校があったら積極的にオープンキャンパスに参加しましょう。今年は多くの学校で来場型とオンライン型のオープンキャンパスが並行して行われるようですが、できるだけ実際に現地に行って自分の目で確かめてみましょう。参加すると学校案内や募集要項をもらえるだけでなく、最新の入試情報や対策のアドバイスをすることもできます。また体験授業を受け実際の授業の内容や学校の雰囲気を味わうこともできます。これから夏休みにかけて実施回数も増えるので、ぜひ参加して学校選びの参考にしてください。できれば、いくつかの学校に参加して比較してみる方が良いと思います。ホームページ等で定期的に日程、内容、方法などの情報を確認してください。

※県内の大学・短大・専門学校については、進路室前の掲示板にポスターが貼ってあるので参考にしてください。（卒業予定生のいるクラスには、その都度配布しています）

◆2021年度入試から大学入試のしくみが変わる！

・大学入学共通テストの導入：高校での学習の到達度を見る学力試験。解答方法はマーク式。国公立大学+多くの私立大学で利用

・入試の名称および他の変更点

- ①一般選抜：筆記試験に加え、調査書や志願者本人が記載する資料等を積極的に活用。
- ②学校推薦型選抜：出願時期は11月以降、合格発表時期は12月以降。
- ③総合型選抜：出願時期は9月以降、合格発表時期は11月以降。

学校推薦型選抜・総合型選抜では調査書等の出願書類だけでなく、各大学で実施する評価方法（小論文・プレゼンテーション・口頭試問等）か「共通テスト」のいずれかを活用。

受験生の多面的な評価のため、高校が作成する「調査書」「推薦書」や本人が記載する資料（活動報告書など）を積極的に活用。（自分の学習・活動記録を蓄積しておく必要有り）

※各大学の入試情報については必ず最新の公表情報(ホームページ等)で確認して下さい。

◆おわりに

進路について考える上で最も大切なことは、担任の先生と常に連絡・相談をすることです。担任の先生は皆さんのことをよく理解しているとともに、自らも受験や就職を乗り越えてきた経験者でもあります。担任の先生と志望校・志望企業や受験方法・対策などについてよく話し合い、しっかりと準備を進めていってください。

さらにそうした上で、進路指導室も利用してください。係の先生方への質問、学校・企業等の資料閲覧などぜひ利用してもらいたいと思います。

